



かいた 高根小学校だより 第12号 令和6年2月1日

「学校教育目標」かしこく（知）・なかよく（徳）・たくましく（体）

児童数 男子 81名 女子 84名 計 165名



春の訪れを前に

校長 原 政幸

年が明ける頃、校舎の北側に植えてあるサザンカが咲きます。次に正門付近のロウバイが咲き始め辺りに芳香を放ちます。次は校庭の南東に並んでいるウメが紅色に列をなして咲き誇ります。地面に目をやるとそこかしこにスイセンが芽を出して、その中でも白いスイセンがいち早く咲きます。その頃になると図書室の近くのハクモクレンのつぼみはいよいよ銀色にふくらみ開花を待っています。学校全体を囲むように植えてあるソメイヨシノの越冬芽も少しずつ大きくなり春爛漫となる3月を迎えます。

こうしてみると、高根小学校には、季節を表す花木が順序よく植えてあることが分かります。春になると中庭にはたくさんのタンポポが咲きます。タンポポはとても生命力の強い植物です。冬の寒い間、地面にぴったりと張り付いて、冷たい北風や冷たい雨や雪に耐え、暖かくなると少しずつ葉や茎を伸ばしていきます。雨が少なくても生きていくことができ、ちょっとしたコンクリートの隙間にも根をおろして、黄色い花を咲かせ、春を彩ります。その秘密は根っこにあります。タンポポの根っこは50cmから長いものだと1mにもなるそうです。その長い根っこがタンポポの茎や葉、花を支えているのです。きれいな花を咲かせるにはそれを支えるしっかりとした根が大切です。花はやがて実を結び、うぶ毛のような白い傘をつけて風に運ばれ、遠くに散って、そこでまた根をはって花を咲かせます。

3学期はそれぞれの学年のまとめの学期です。それと同時に新しい学年のための準備の期間、タンポポのように根っこを広げ、深く根をおろす時期です。新しい学年の課題に取り組む心構えを持つべく、勉強や運動に粘り強く取り組んでほしいと思います。

新型コロナウイルスやインフルエンザ等感染症が全国的に流行ってきました。ご家庭におかれましても朝食、十分な睡眠に心がけ、うがいを励行し、健康な生活が送れるようにご留意をお願いします。

ダメな人間は、一人もいない

1月の全校朝会で、この世の中にダメな人間など一人もいません、という話をしました。私たちには、何でも見える目があり、何でも聞くことができる耳があり、何でも考えることができる頭があります。こんな素晴らしい身体の働きがあるのに、どこがダメな人間なのでしょう。実は、自分はダメだと思う心が、ダメ人間と決めつけているということです。

ライトはスイッチを入れると光を放ち、スイッチを切ると光を放ちません。見ようとする心のスイッチを入れなければ見ることはできません。聞こうとする心のスイッチを入れなければ聞くこともできません。頭も働かせようとする心のスイッチを入れなければ働かせることはできません。授業中は、心のスイッチを入れて、よく見て、よく聞いて、頭を働かせましょう。

この3つのことを心がけて、高根小学校で力をつけて、立派な社会人になってほしいです。

校外学習での交流と体験

1月26日に6年生の校外学習を実施しました。目的地は、東京都千代田区の国会議事堂と科学技術館です。普段はなかなか訪れることができない国会議事堂での体験学習ができるということで、6年生は張り切っていました。首都高速からは東京ドームの白い屋根や東京スカイツリーが見えました。霞ヶ関に入ると、皇居のお堀や警視庁などを間近に見ることができました。やがて、国会議事堂が正面に見えてくるとバスの中に歓声が起こりました。この日は、通常国会の初日ということで、警備が厳重でした。はじめに衆議院に入り、本会議場を見学しました。その後、参議院にまわり、特別体験プログラムに参加しました。これは、実際に成立した法案をもとにして、参議院での委員会での可決、本会議での投票という流れを小学生が体験するというものです。

当日は、本校の他に東京都町田市立本町田東小学校、茨城県坂東市立七郷小学校の6年生と一緒に体験プログラムを行いました。

委員会や本会議を進める役割として、利根川さん、服部さん、川口さん、沼浦さん、石坂さんが委員となり、岸川さんが衆議院議員、危さんが議長を務めました。案件となる法案は「未成年者禁煙・禁酒法改正案」でした。役割のある人たちは、他校の児童と堂々とやり取りを展開し、委員会は全会一致で可決されました。役割のない児童は、参議院議員として投票ボタンを押します。参議院本会議では、投票総数92、賛成57、反対35で可決されました。他校の児童達との交流と貴重な体験ができたと思います。



◇通常国会初日 衆議院側から



◇参議院特別体験プログラム
委員会で採決しているところ

百日目

津坂 治男

芽が出るまでに十三日
本葉がひらくのに また一週間
そこを虫に食われ
霜にこごえて
じつと耐えつづけた冬空の下
風に傾いて年が明け
雪をふりはらって少し背が伸び
寒のもどりに股をひろげて
今日 百日目
大地に踏んばる
緑の雄々しさ
いくつにも株分かれして
今にもどつと噴き出る姿、
ソラマメ
やっと 君らの春だ



春になったらソラマメ
を食べます。その一粒一
粒の育ちを思い浮かべて、
大事に食べたいです。